

第3回万国津梁会議 報告 レジюме

観光を基軸とした新しい地域産業政策
と「循環型地場産業」の形成

2023年12月27日

熊坂 敏彦

本日の報告内容

自己紹介・著書紹介

「循環型地場産業」とは何か

- ・その特徴と構造

持続可能な地域づくりと新しい地域産業政策

- ・「統合型地域産業政策」とは何か
- ・その内容と主な施策
- ・観光まちづくり・産業観光の意義と類型

「統合型地域産業政策」推進による「循環型地場産業」の形成過程

- ・形成過程
- ・(事例紹介)岩手県葛巻町

おわりに

- ・事例から学ぶ新しい地域産業政策づくりへの示唆

【著書紹介】

本書の特徴

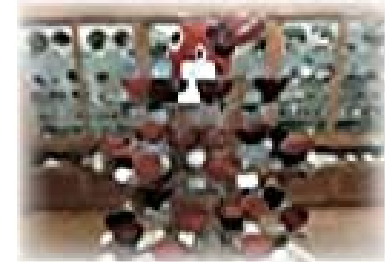
1. 「**地場産業**」にスポットをあて、それらの**サバイバル戦略**（「**産地革新**」や「**企業革新**」）の中から**地域活性化**、**持続可能な地域づくり**のヒントを学ぶ。
2. **酒（日本酒）と器（陶磁器）と観光**：「**日本文化産業**」を取り上げて、**地域資源である地場産業を再評価**する。
3. 「**グローバル**」と「**ローカル**」の相克、**企業経営における「伝統」と「革新」の相克**、「**ものづくり**と「**まちづくり**」と「**ひとづくり**」の循環と融合等を提示。**課題解決**と一緒に考える。



循環型地場産業 の創造

持続可能な
地域・産業づくりに向けて

熊坂敏彦



フィールドワーク、酒と器と旅を通して、
多様な地域、業種、人物を取り上げる。

企業経営における伝統と革新の相克、ものづくり・まちづくり・ひとづくりの循環・融合。そこから紡ぎ出される、地域を主体にした社大な循環型地場産業、統合型地域産業政策構想。等身大ながらも斬新で興味深く、ゼロ一読を！

社会評論社

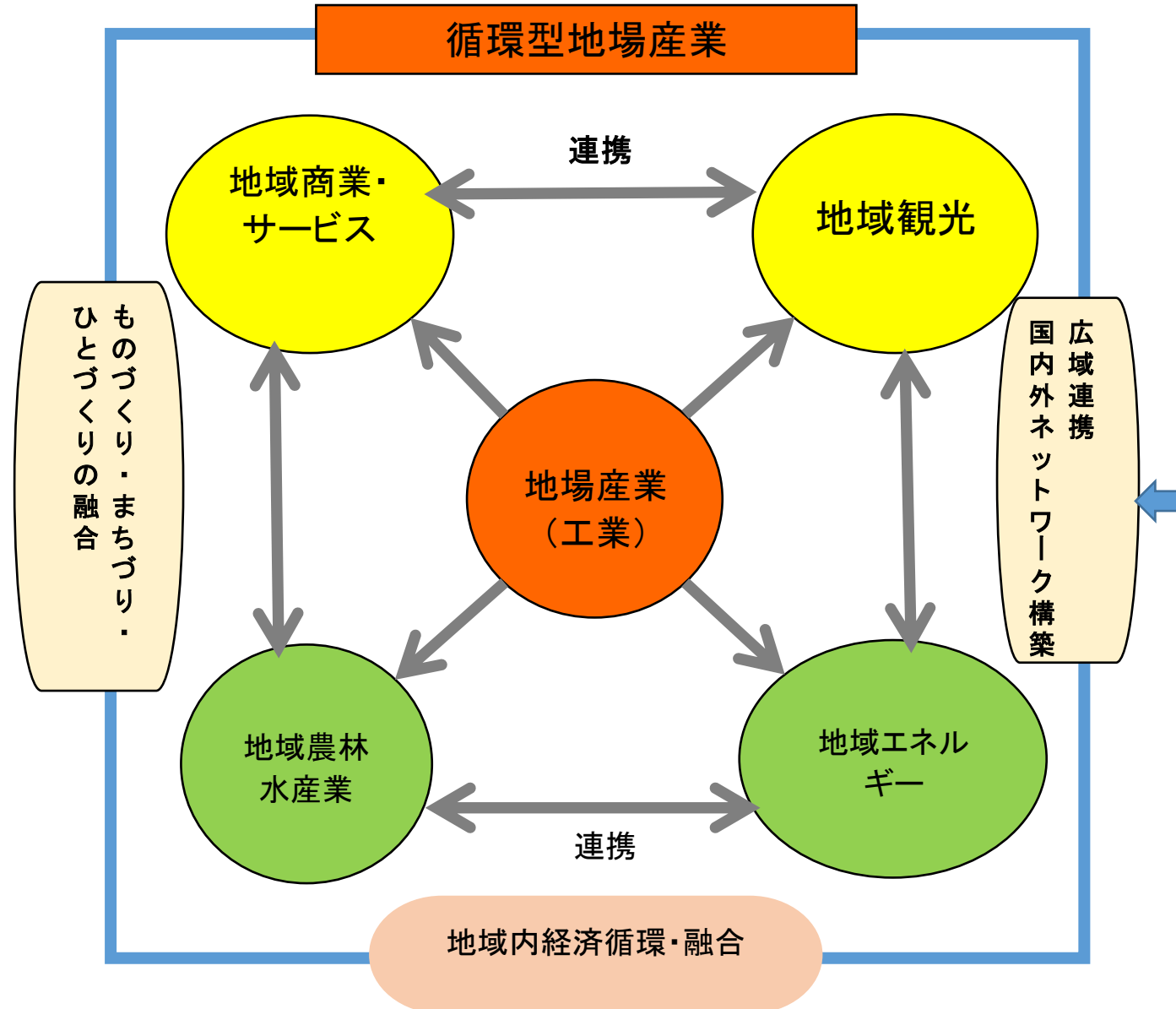
「循環型地場産業」とは何か

「循環型地場産業」のイメージ図

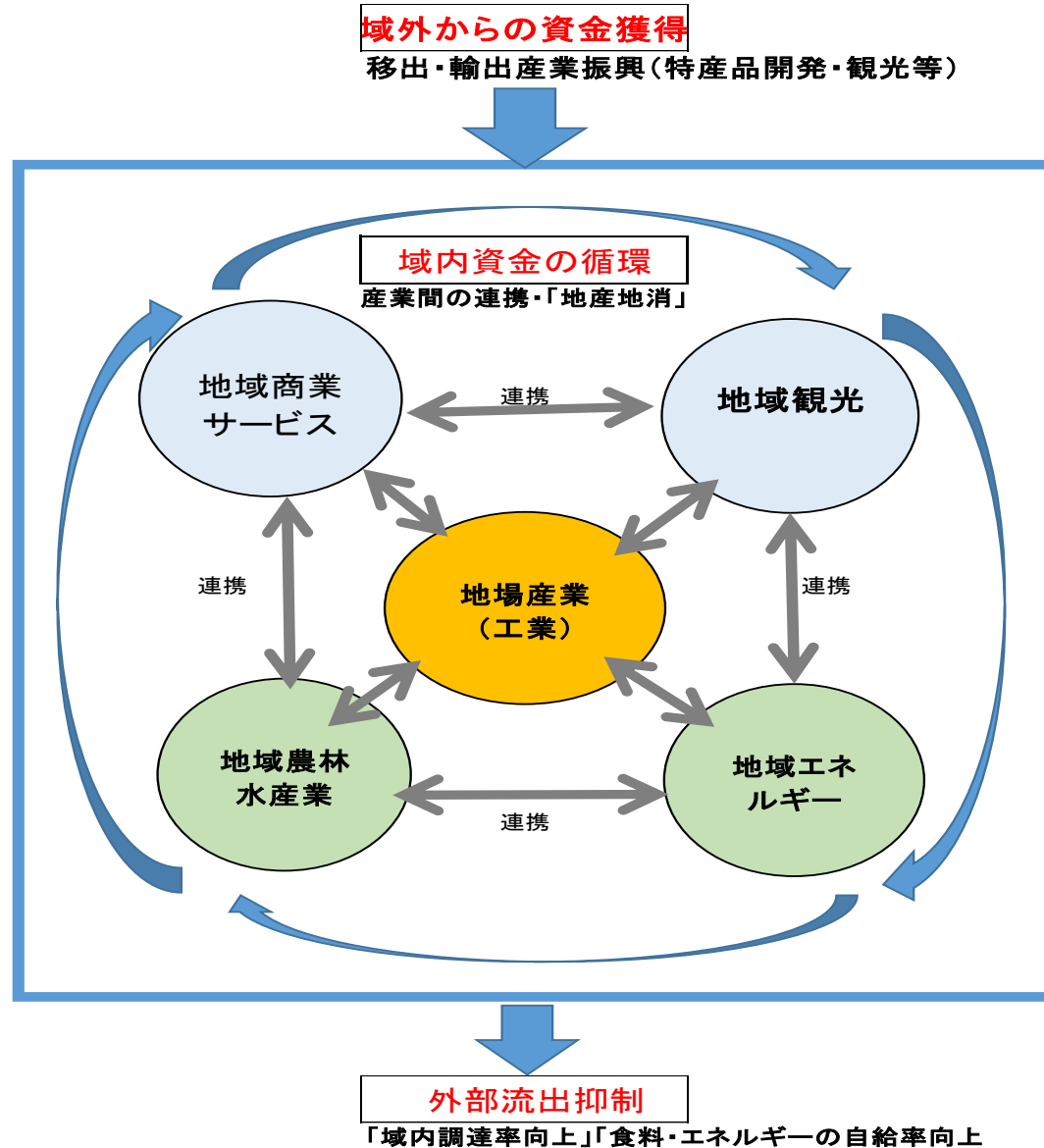
・地域内の多様な経済主体が「連携」し、地域内の多様な経済資源を活用して地域内経済循環を基本とする**持続可能な地域づくりに貢献する新しい地域産業**。

・その特徴

- ①地域資源を活用し、**地域の特産品や観光サービス等**を移出・輸出する。
- ②**地域内の諸産業が連携・融合し、地域内循環力がある基盤産業**。「農商工観光連携」
- ③**自然・環境にやさしく、持続可能性が高い21世紀の地場産業**。



「漏れバケツの理論」を応用した「循環型地場産業」の資金循環構造



「漏れバケツ」の理論→地域経済の循環的发展

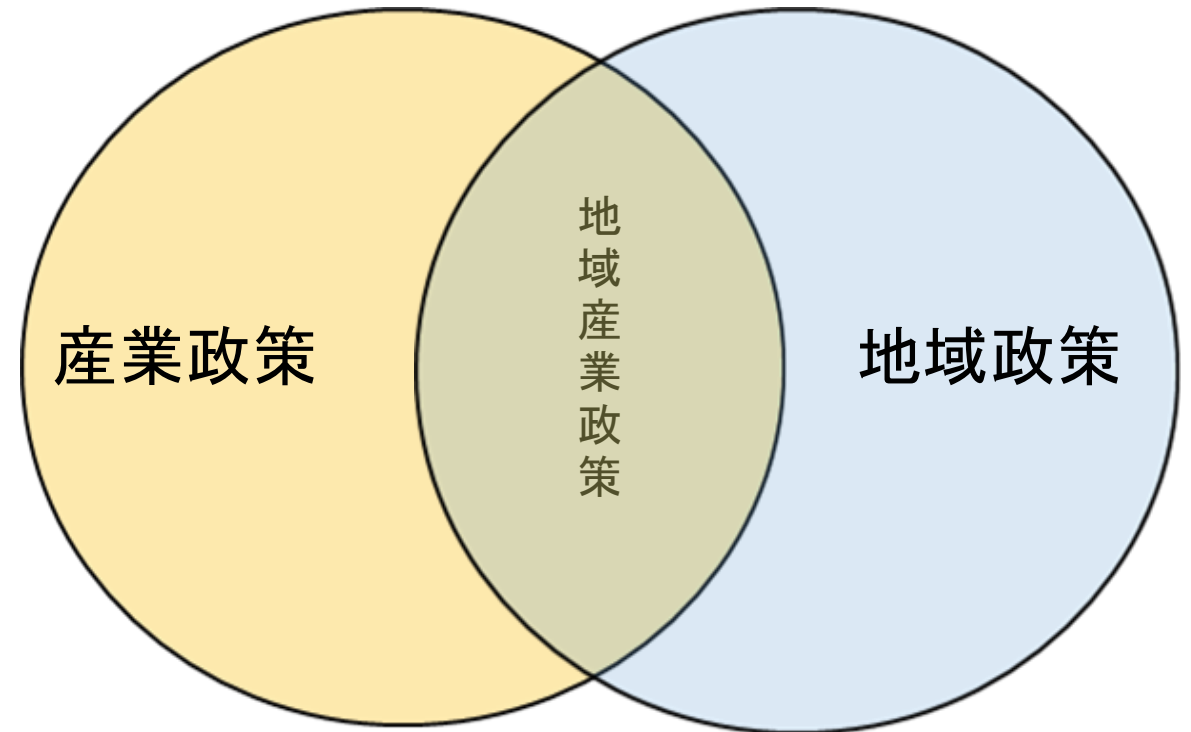
- ①地域内で資金を循環する
(産業間の連携、「6次産業化」「農商工観光連携」)
- ②地域外から資金を獲得する
(特産品開発販売、観光、インバウンド:移出・輸出)
- ③地域外への流出を抑える
(域内調達率向上)

地域産業政策とは何か

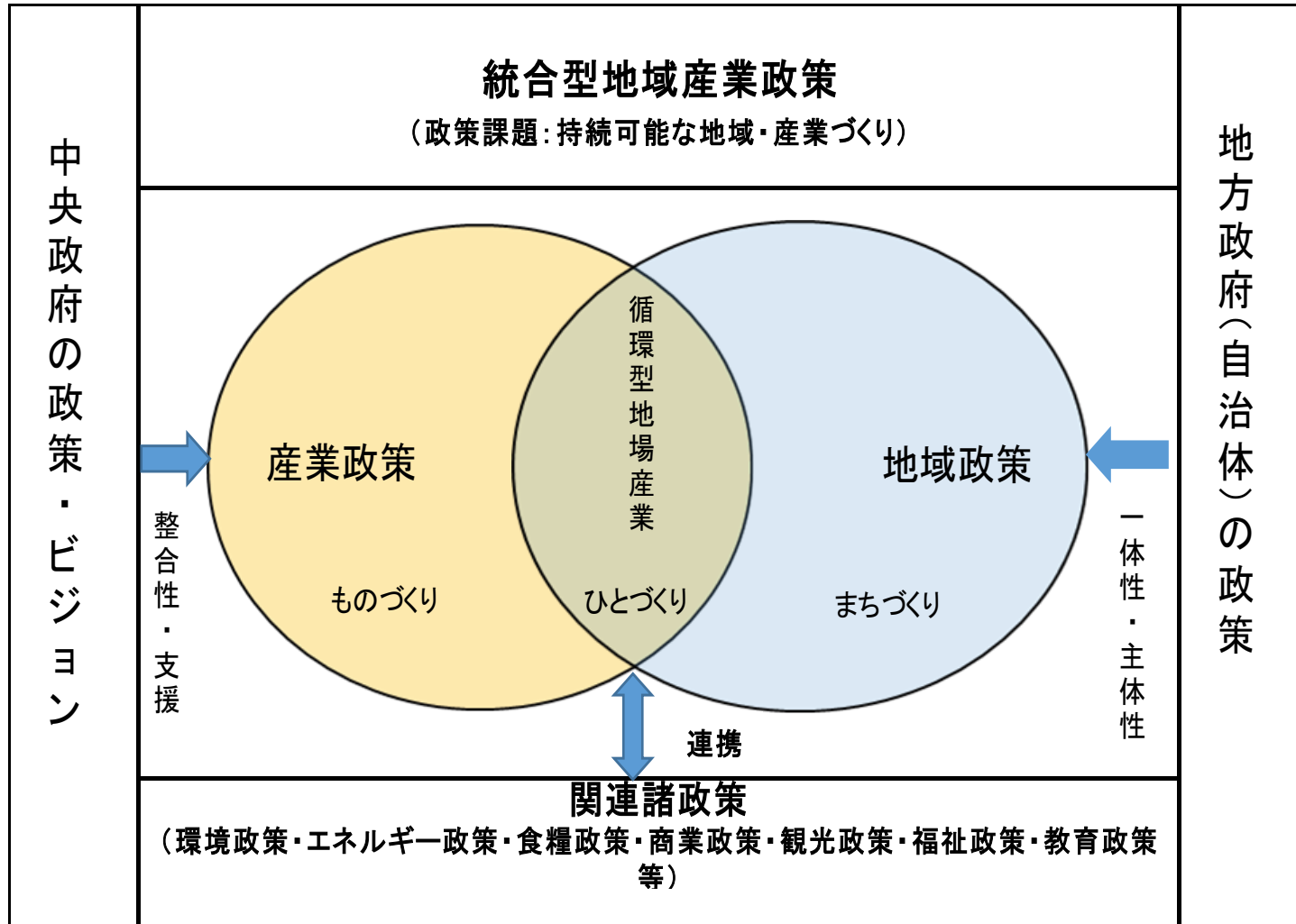
(従来の定義)

地域産業政策とは、「地域レベルでの産業政策」とされ、「政策主体が中央政府である場合と地方自治体である場合」とがある

地域政策分野と産業政策分野が交わる部分をさし、その中心となる対象産業は**中小企業**である、とされる。



「統合型地域産業政策」とは何か



(資料)筆者作成

「統合型地域産業政策」の特徴

- ① 中央政府の政策・ビジョンと地方政府(自治体)の政策の「統合」
- ② 産業政策と地域政策の「統合」
- ③ 産業政策としての「ものづくり」、地域政策としての「まちづくり」、両政策の基本である「ひとづくり」の「統合」(三位一体化)
- ④ 関連諸政策との政策連携による「統合」(環境・エネルギー, 食料、観光等)
- ⑤ 地域諸産業間連携による産業統合(「循環型地場産業」づくりへの寄与)

(表1) 「統一型地域産業政策」の主な内容

区分	目的	主な政策内容
物質循環	・ 自然環境・生態系の維持保全	・ 循環型まちづくり
	・ 温暖化・気候変動防止	・ 脱炭素化推進
		・ 自然エネルギー・再生可能エネルギー開発利用
		・ 農林業振興（農業・農村の多面的機能）
		・ 有機農業振興
経済循環	・ 所得向上	・ 地域資源活用による産業振興（食・農・エネルギー）
	・ 雇用拡大	・ 特産品開発による移出・輸出産業創生
	・ 人口減少防止・増加	・ 地域循環経済構築策（地産地消、 域内調達率向上 、 産業間連携、 6次産業化 、 農商工観光連携 、産学官連携）
	・ 地域経済自立化	・ 観光まちづくり、産業観光
		・ 地域ポイント制度（エコマネー）

(資料) 筆者作成。

地場産業による「産業観光」の類型と事例

類型	主な事例
① 工場・工房見学	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区「おおたオープンファクトリー」(20工場参加、1週間) ・墨田区「スミファ(すみだファクトリーめぐり)」(22社参加、2日間) ・墨田区「小さな町の博物館」(30カ所)
② ものづくり体験	<ul style="list-style-type: none"> ・墨田区「スミファ(すみだファクトリーめぐり)」 ・笠間市「笠間発見伝」(着地型旅行商品、やきもの・木工・石工・農業体験) ・常滑市「焼き物散歩道」(絵付け体験)
③ イベント・おまつり	<ul style="list-style-type: none"> ・燕・三条市「燕三条工場(こうば)の祭典」(109拠点・93工場参加、4日間、約6万人) ・新潟県酒造組合「にいがた酒の陣」(90酒蔵参加、2日間、約13万人) ・笠間焼産地「陶炎祭(ひまつり)」(200社参加、1週間、約50万人)
④ まちあるき	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡かばん産地「カバンストリート」(2005年～、鞆産業と豊岡市宵田商店街が連携) ・岡山ジーンズ産地「児島ジーンズストリート」(ジーンズメーカーの販売店を商店街に集積) ・美濃焼産地「本町オリベストリート」(陶器問屋街にギャラリー・カフェ・ベーカリー等が集積)

(資料)新聞・雑誌・インターネット等情報をもとに筆者作成

(表2) 統合型地域産業政策推進による循環型地場産業の形成プロセス

	事業化 (Business Development)	企業化 (Entrepreneurship)	産業化 (Industrialization)	産地化 (Localization)
主な政策・施策	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい事業の創出支援 ・情報提供 ・市場調査・事業化調査支援 ・事業環境整備 ・研修・外部派遣・視察 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援 ・ベンチャーキャピタル ・インキュベーション施設 ・補助金獲得支援 ・共同出資・融資 (第三セクター、公社等設立) ・専門家紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業多角化支援 ・他企業・他産業との連携支援 ・ネットワーク形成支援 ・研究開発投資 ・技術訓練支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品開発・普及支援 ・地域ブランド化推進 ・産業観光化 (見学・体験・イベント・まつり) ・広報・宣伝

(資料) 筆者作成

事例報告：岩手県葛巻町

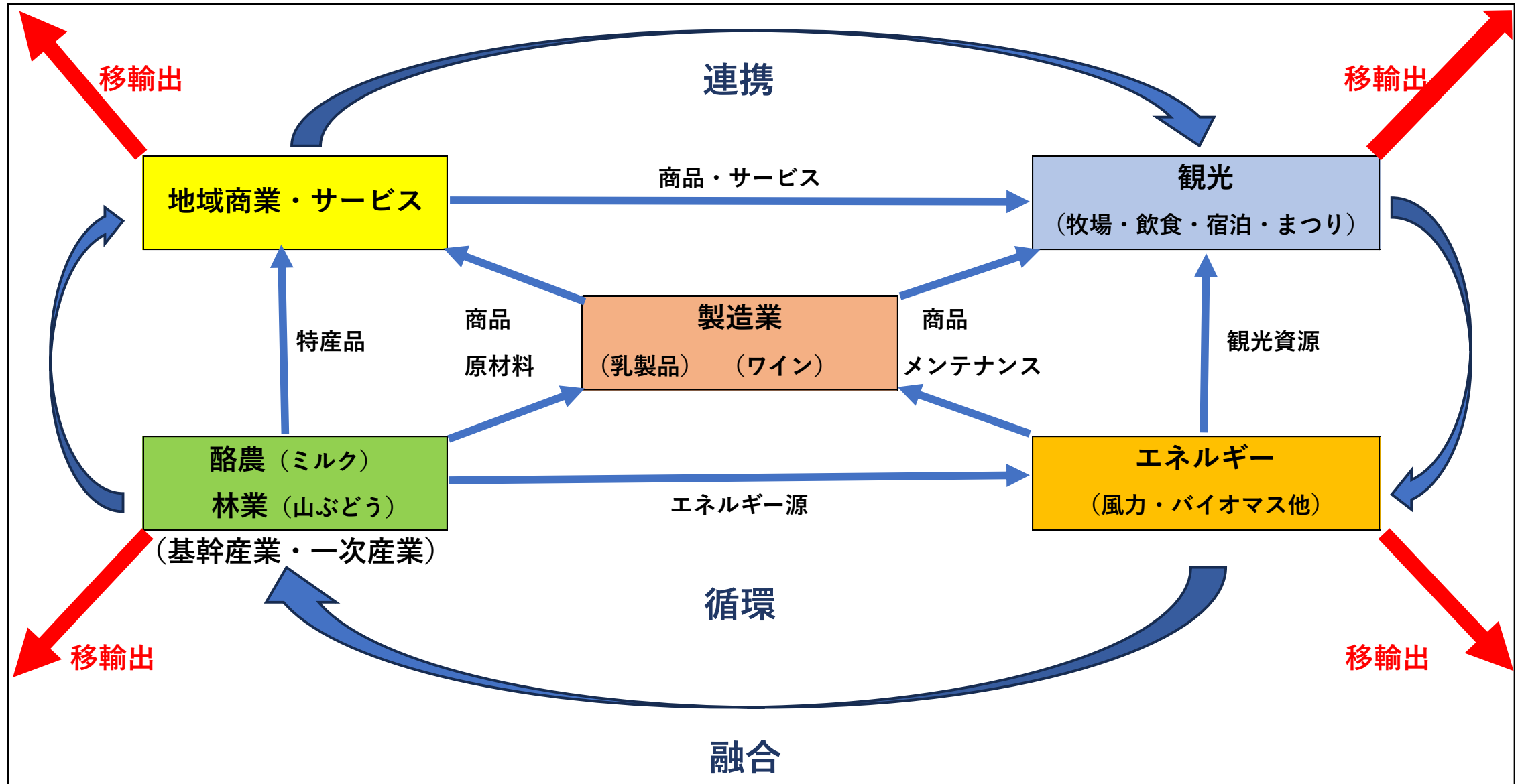
	葛巻町	岩手県
地域区分	県央部・山間部	
面積 (km ²)	434.9	15,275
森林面積 (千ha)	36.8	1,173
森林率 (%、令和2年度)	84.6%	76.8
人口 (千人、令和2年)	5.5	1,212
世帯数 (千世帯、令和2年)	2.7	531.0
高齢化率 (%、令和4年10月)	50.2	34.8
人口密度 (人、令和2年)	12.7	79.4
入込客数 (千人、令和元年)	432	29,213
同上 (千人、令和2年)	161	16,879
総生産額 (億円、令和2年度)	197	47,474
一人あたり所得 (千円、令和2年度)	2,042	2,664



葛巻町の循環型地場 業形成プロセス

分野	事業化	企業化	産業化	産地化
ミルク	<ul style="list-style-type: none"> ・北上奥羽山系開発事業(1975) 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛巻町畜産開発公社設立 (1976) (くずまき高原牧場) ・小岩井農場と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業多角化 ・宿泊施設「くずまき交流館プラトー」〈1995〉 ・体験施設・ミルクハウス〈1996〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際チーズ品評会銅賞受賞 (2020) ・グリーンツーリズム拠点化
ワイン	<ul style="list-style-type: none"> ・役場職員(鈴木氏)池田町派遣 ワイン研修(1980) ・山ぶどう苗木生産(1985) 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛巻高原食品加工(株)(1986) ・ワイン工場建設(1986) ・ワイン生産開始(1987) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品づくり(ワイン、ジュース) ・6次産業化推進(ジェラート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)岩手くずまきワインと社名 変更(2017) ・ブランド力強化 ・日本ワインコンクール受賞(2022) ・くずまきワインパーティ(2023) ・日本山ぶどうワイン協会設立(2023)
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・風力欧州視察(1998) ・新エネルギービジョン策定(1998) ・町営風車3基稼働〈1999〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンパワーくずまき風力 発電所稼働(12基、2003) ・畜糞バイオマスプラント(2003) ・木質バイオマスプラント(2005) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンパワーくずまき風力 発電第2期(22基、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー視察受入 ・「北岩手循環共生圏」(9市町村、 横浜市と再エネ連携、2018) ・全国風サミットinくずまき(2022)
観光		<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル「グリーンテージくずまき」 設立(1993) ・レストラン開業〈1994〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流体験施設「くずまき交流館 プラトー」〈1995〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・くずまき高原まつり(1997) ・葛巻型DMO

葛巻町の循環型地場産業連関図（諸産業間の連携・循環・融合⇒移出・輸出産業化）



(資料) 筆者作成。

おわりに : 事例から学ぶ新しい地域産業政策づくりへの示唆

- ① **首長の夢、熱い思い**、ビジョンが明確で、強力なリーダーシップが発揮されていること
- ② 「**ひとづくり**」を役所職員から始めており、大学・研究機関、中央官庁、成功者・先駆者(企業・個人等)へ**派遣し、研修**を受けさせ、そこで得られたネットワークを活かしていること
- ③ 「**ものづくり**」では、地域資源の活用による「**特産品づくり**」に注力し、企業間・産業間連携をリードしながら外部資金を獲得できる移出輸出産業形成を志向していること
- ④ 産業政策のゴールとして、**観光まちづくり(産業観光)**、**地域ブランド形成**等による「**産地化**」を志向していること
- ⑤ 「**ひと・まち・ものづくりの三位一体化**」が進められていること